

乳がん体験者コーディネーター養成講座

know (≠No) More Cancer

BEC: Breast cancer Experienced Coordinator

第 16 期生 募集要項・実施要綱

2020 年 9 月 3 日(木)開講

申込期間: 2020 年 7 月 1 日(水)～2020 年 12 月 21 日(月)

受講期間 前期: 2020 年 9 月 3 日(木)～2021 年 1 月 21 日(木)

後期: 2021 年 3 月～5 月(前期試験合格者)

受講申し込みはこちらから

<https://www.cancernet.jp/training/bec>



この講座を運営する団体

■認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン

認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン(以下 CNJ)は、がん患者が本人の意思に基づき、治療に臨むことができるよう、患者擁護の立場から、科学的根拠に基づくあらゆる情報発信サービスの提供を目指すことをミッション(使命)とし、がん体験者・家族・遺族、その支援者、そして医療者と共に、日本のがん医療を変え、がんになっても生きがいのある社会の実現をヴィジョン(夢)とし活動を続けてきました。

その理由は、がんと診断された患者・家族は、氾濫するがん医療情報の中、医療提供者と受益者(患者・家族)間で情報の非対称性の大きいがん医療において、科学的根拠に基づく、正しい情報にたどり着く事が困難であり、医療提供者と受益者の間に立ち、受益者擁護の立場から、情報発信する必要性があったからです。CNJ は今後も、がん患者や家族、また医療にかかわるあらゆる人々へ情報を発信し続けてまいります。

認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-10-2 御茶の水 K&Kビル 2F

TEL: 03-5840-6072 FAX: 03-5840-6073

メール cinbec@cancernet.jp

第 16 期 乳がん体験者コーディネーター養成講座 -目次-

- | | |
|----------------|---------------------------|
| 1. 講座の概要 | 9. 受講の手続き |
| 2. 受講期間 | 10. 受講の方法 |
| 3. FAQ～よくある質問～ | 11. 前期講座の内容 |
| 4. 開講の背景 | 12. 前期修了試験 |
| 5. 開講の目的 | 13. 後期講座の内容 |
| 6. 受講資格 | 14. 乳がん体験者コーディネーター認定までの流れ |
| 7. 受講料 | 15. 認定後の各種手続きと認定継続要件等 |
| 8. 申込期間 | 16. 認定後の活動について |

1. 講座の概要

インターネット環境があれば「いつでも」「どこでも」「最新のがん医療情報」を学べる e ラーニング・システムを用いた講義です。「日本を代表する講師陣」による、全 19 科目の講義視聴とレポート提出、修了試験から構成される前期と、前期で学習した知識を活用するための実践的少人数学習プログラムの後期で構成されます。前期・後期すべて修了した方が、CNJ が認める「乳がん体験者コーディネーター」と認定されます。

※前期の講座を受講し、修了試験に合格された方は「乳がん体験者コーディネーター養成講座修了生」となり、後期の受講資格があります。(前期修了のみでは、「認定」とはなりませんのでご注意ください)。

2. 受講期間

前期受講・レポート提出期間: 2020 年 9 月 3 日(木)～ 2021 年 1 月 21 日(木)

後期受講期間: 2021 年 3 月～5 月。全体発表: 2021 年 5 月下旬を予定

前期・後期ともに、カリキュラムにある各講義の web 公開日以降、受講期間内は何回でも視聴が可能です。この期間を過ぎますと視聴及び資料ダウンロードはできませんのでご注意ください。

3. FAQ ～よくある質問～

Q1. 「乳がん体験者コーディネーター養成講座」とはどんな講座ですか？

2007 年 6 月に閣議決定された「がん対策推進基本計画*1」には、「今後は、基本計画に基づき、国及び地方公共団体、また、がん患者を含めた国民、医療従事者、医療保険者、学会、患者団体を含めた関係団体及びマスメディア等(以下「関係者等」という。)が一体となってがん対策に取り組み、がん患者を含めた国民が、進行・再発といった様々ながんの病態に応じて、安心・納得できるがん医療を受けられるようにするなど、がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんに向き合い、がんに負けることのない社会の実現を目指すこととする。」と言及されています。異なる立場の方々が協働し、この目的を達成するためには、がんに対する一般的知識、その他がん医療情報に関する知識、及び最新の情報にアクセスするスキルは最低限の必要条件になります。この講座は、これら異なる立場の方々の中で、乳がん体験者の立場、乳がん患者支援者が、がん医療に関与するための「乳がん医療情報」に特化した養成講座になっています。

*1 がん対策推進基本計画 https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/gan_keikaku03.pdf

Q2. どのような方が受講されていますか？

2007 年 4 月に第 1 期を開講し、以降 15 期まで、様々な立場の 500 名以上の方々に受講頂きました。

- ・自身または家族の治療をより深く理解するため
- ・乳がん体験を持ち、今後がん医療への関与を希望する方
- ・がん患者団体等でピア(体験者)の立場として患者相談などの活動をされている方
- ・医療機関に勤務する医療者(看護師・薬剤師・ソーシャルワーカーなど)で乳がん体験を有する方
- ・行政や自治体でがん対策に関わる上で知識を会得したいと考える方
- ・乳がん患者(乳がん体験者)を持つ家族・遺族で、今後がん医療に関りを持ちたいと考える方
- ・製薬企業で営業・開発・教育研修を担当している方
- ・医療、社会保障、科学等を担当するジャーナリストの方

Q3. 認定者・修了者は、どのような形で活動されていますか？

受講生のほとんどは仕事を持ちながら、本養成講座を受講され、修了・認定後はご自身の仕事の中で、本プログラムで習得されたがん医療情報の基本的知識、最新の情報へのアクセスのスキル等を活用頂いております。今後は、Q1 の説明にもあるように、病院や公的機関だけでなく、民間企業等様々なところで、がん医療情報の基礎的知識を有する人材のニーズが高まると思われます。

4. 開講の背景

(1) 日本におけるがん医療環境と現状

直近の統計では、日本におけるがん罹患全国推計値は 1,017,200 例(2019 年)*2、また死亡者数は 373,584 人(2018 年)*3となっており、今後も増加が予測されています。一方、欧米、特に米国においては官民一体となった早期診断・早期治療の普及・啓発、臨床試験の普及・啓発・実施、それらから得られる標準的治療の普及により、死亡率に歯止めがかかり、乳がんなど特定のがん種においては、死亡率の低下を達成しています。日本の現状は、この 10 年でかなり進んできておりますが、医療の均てん化など、まだまだ問題は山積されています。

Reference 国立がんセンター がん情報サービス

*2 罹患予測 https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/short_pred.html

*3 死亡者数 https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/summary.html

(2) 近年のがん医療の変化

国家レベルの取り組みとしては、厚生労働省は国立がん研究センターを中心とし、各都道府県にがん診療連携拠点病院の設置を進める他、2006 年 10 月には医療者向け、患者向けの「がん対策情報センター」を開設し、「がん対策推進」を

図

ってきました。また、2007 年 4 月からは、これらの問題解決を更に加速させる役割を持つ「がん対策基本法」*4 も施行され、同年 6 月には「がん対策推進基本計画」も閣議決定され、2012 年・2016 年・2018 年には更に現状に即した改訂がなされました。「がん対策基本法」の基本理念にもある「科学的知見に基づく適切ながんに係る医療を受けることができるようにすること」「がん患者の置かれている状況に応じ、本人の意向を十分尊重してがんの治療方法等が選択されるようがん医療を提供する体制の整備がなされること」を広く実現するためには、医療提供側・医療者のみの変革だけでなく、同時に患者が医療消費者として、信頼性の高い情報にたどり着き、それを理解し、主体的に治療を選択できる環境の構築が急務となっています。

Reference

*4 がん対策基本法 https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=79aa8258&dateType=0&pageNo=1

(3) がん患者・家族・国民が置かれた環境

2006 年 10 月に「がん対策情報センター」が開設されて以降日々情報が追加・更新され、適切な情報を届けるための環境整備は進んでいます。また、がん関連学会編集による診療ガイドラインにおいては、近年学会等の努力により一般への公開が進み、各関係団体の整備はこの 10 年間でかなり進歩して来しました。患者・国民がアクセスできるがん相談窓口は、以前に比べれば大変充実してきたものの、認知・連携が不十分であるところも散見されています。

2011 年にキャンサーネットジャパンががん患者、家族を対象に調べたアンケートによると、最も知りたい情報は「病気」や「治療方法」についてであり、その入手方法の第 1 位はインターネットという結果になりました。インターネットの普及により、がん医療情報の入手は容易になりましたが、一方で、専門知識がない医療消費者にとって膨大な検索結果の中から正しい情報に辿り着くことは、新たな課題となりました。2016 年に起こった「WELQ」問題*5 は、私たち日本国民に「ネット上の正しい情報とは何か？」を真剣に考える機会を与えました。この問題を契機に、2018 年 1 月、Yahoo! の検索エンジンのアルゴリズムが改訂され、以前に比べ、国立がん研究センターがん対策情報センターの信頼性の高い情報が検索サイトの上位に掲載されるようになりました。*6 しかしながら、信頼のある適切ながん情報へのガイド役、それをわかりやすく伝える役割の存在はまだまだ不足しています。

Reference

*5 DeNA プレスリリースより <https://dena.com/jp/press/003255>

*6 Yahoo! プレスリリースより <https://about.yahoo.co.jp/pr/release/2018/01/30a/>

(Yahoo!は Google の検索エンジンを使用しています)

(4) がん患者・家族が直面する問題

がん患者・家族が「がん」と診断され直面する問題は、3 つに大別されます。1 つは、自身の治療上の決定における医療情報・各種治療の自身への影響、すなわち効果・有害事象(副作用)など体への影響、「Physical な問題」。2 つ目は「がん」という診断に対する不安、治療の効果・有害事象(副作用)などに対する不安、生活・将来への不安などの「Mental な問題」。3 つ目として、高騰化する医療費に関わる経済的な問題(就労を含む)、医療制度に関する問題、すなわち「Practical な問題」です。

(5) がん対策推進の取り組み

2018 年 3 月 9 日に閣議決定された第 3 期がん対策基本計画*6 では、「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す。」を全体目標に掲げ、日本のがん対策は新たなフェーズに進んだと言えます。今後は、「がん予防」「がん医療の充実」「がんとの共生」を分野別施策として、これまで以上にがん患者を含めた国民全員が、様々な立場からコミットしていくことが求められていきます。このような背景を考慮すると、乳がんを体験し、克服した患者・家族は、様々な点において、今後発症する乳がん患者・家族にとって、有益な情報発信者となり得ます。社会や教育現場では、当事者の声を聴こうという風土が生まれつつあります。実際に、米国を始め先進諸国においては、がんを克服した患者は、尊敬を込めて「Cancer Survivor: キャンサーサバイバー」と呼ばれ、彼らは乳がん早期診断と早期治療の啓発者として活躍している方が多くいらっしゃいます。

Reference

*6 第 3 期がん対策基本計画 <https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000196975.pdf>

5. 開講の目的

2007 年 4 月、NPO 法人キャンサーネットジャパンでは、患者・家族のニーズに応えるべく、民間レベルにおいて、信頼性の高い、科学的根拠に基づいた、その時々における良質で信頼性の高い乳がん医療情報を提供し、かつ、それらの乳がん特有の医療情報等を患者の言葉にし、伝えることのできる「乳がん体験者コーディネーター」の人材養成講座をスタートさせました。「乳がん体験者コーディネーター」は、乳がんと診断され直面する問題（主として乳がん医療情報に関する問題）を、解決できる・あるいは解決に導く既存の信頼性の高い情報にアクセスし、提供できる能力を習得します。本養成講座により「乳がん体験者コーディネーター」を養成・輩出し、国が掲げる「がん対策推進」に寄与し、日本における民間組織（NPO 法人）の役割を果たし、これをもってがん医療へ貢献することとします。

なお、本講座は「こころのケア」「カウンセリング」のスキルを認定するものではありません。ピアサポーター・カウンセラーの養成を、直接の目的としていません。

6. 受講資格

- 主たる治療（手術・放射線療法・薬物療法など）を終了した乳がん体験者（応相談）
- 乳がん患者を持つ成人家族
- その他 認定 NPO 法人キャンサーネットジャパンが認める者等^{注）}

^{注）}「乳がん体験者コーディネーター」に求められるものは、信頼性の高い乳がん情報にアクセスし、乳がん患者の立場に立ち情報を提供する能力であり、原則的に、受講者の資格・バックグラウンドは重要でないと考えており、志しあるその他の者についての門戸も開かれています。

- 基本のパソコン操作（資料のダウンロード、Word を使用しての添付、送受信）ができる方、インターネット及び E-mail（携帯電話は不可）を使用、メールによる Word・PDF ファイル等の添付送受信が可能な環境がある方。かつ、代表的な検索エンジン（Yahoo・Google など）が使用できる方。（ipad 使用者も同様です。必ずご確認ください。）

※事務局からの連絡は原則として、E-mail の一斉配信で行われます。但し、Gmail、Yahoo mail 等のフリーメールをご使用の方は、事務局からの連絡が迷惑メールフォルダ、ごみ箱等に振り分けられる事例があるためご留意頂き、必ず迷惑メールフォルダもご確認ください

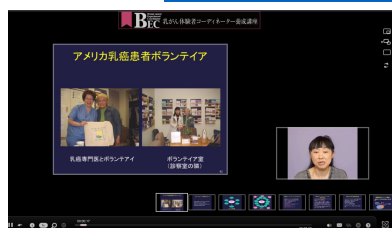
【重要】

*** 下記の URL にアップロードされているコンテンツが問題なく再生可能である事を必ず確認して下さい。**

このコンテンツの再生が出来ない場合、受講が不可能です。お申し込み後、動画視聴不可に伴う返金はお受けできません。

乳がん体験者コーディネーター(BEC)養成講座 < <http://www.cancernet.jp/training/bec> >内

「BECについて」< <https://bit.ly/3dpTaio> >



※本講座では、受講者の個別のパソコン環境、動作環境に関する問い合わせには対応いたしません。何卒ご了承ください。

*参考資料 <<本講座を視聴するために必要な要件>>

お使いになる端末により、必要な OS、ブラウザが異なります。必ずご確認ください。

● Microsoft Windows をお使いの方

OS	再生ブラウザ	ネットワーク
Windows 10	Google Chrome Microsoft Edge **Microsoft Edge 40 ではライブ配信およびオンデマンド配信(Smooth Streaming)は視聴できません。	ブロードバンドインターネット接続 または Wi-Fi 接続

● Mac をお使いの方

OS	再生ブラウザ	ネットワーク
Mac OS X 10.10 以降	Safari 8 以降 Google Chrome	ブロードバンドインターネット接続 または Wi-Fi 接続

● iPad をお使いの方

端末	OS	再生ブラウザ	ネットワーク
iPad 第 3 世代以降 iPad Air iPad Air 2 iPad Mini 第 1 世代以降	iOS 8.0 以降	Safari	Wi-Fi 接続 または モバイルデータ通信接続 (4G 以降)

● iPhone / iPod をお使いの方

端末	OS	再生ブラウザ	ネットワーク
iPhone 5 以降 iPod Touch 第 5 世代以降	iOS 8.0 以降	Safari Mediasite Mobile App (iOS 8 または iOS 9) **Mediasite Mobile App は Apple App Store から無料ダウンロード可能	Safari Mediasite Mobile App (iOS 8 または iOS 9) **Mediasite Mobile App は Apple App Store から無料ダウンロード可能

● Android(オンデマンド再生のみ)をお使いの方

OS	再生ブラウザ	ネットワーク
Android 4.4 以降	Chrome browser	Wi-Fi 接続 または モバイルデータ通信接続 (4G 以降)

7. 受講料(消費税別)

種別	早割引申込期間 (2020 年 9 月 30 日まで)	通常申込期間 (2020 年 12 月 21 日まで)	BEC 既認定者 再受講の場合
前期	¥ 73,000	¥ 82,000	¥27,000
後期(前期試験合格者)	¥ 46,000		¥15,000

【前期紹介者割引】(早割引と併用可)

BEC 講師、または BEC 認定者からのご紹介がある場合、紹介者割引(割引額 9,000 円)の適用となります。必ずお申し込み時に、指定の欄に紹介者のお名前をご記入ください。(申し込み後は対応できませんのでご了承ください。)

【いちばん星割引】(紹介者割引との併用不可)

山形県・富山県・福井県・島根県・徳島県・大分県。以上の 6 県にお住いの方は、前期受講料定価 82,000 円 + 税(早割 73,000 円 + 税)が 64,000 円 + 税になります。(該当する方は、現住所を証明するものの写しをご提示下さい。)

8. 申込期間

2020 年 7 月 1 日(水)～2020 年 12 月 21 日(月)

前項の通り、早割引申込期間(2020 年 9 月 30 日まで)と、通常申込期間(2020 年 10 月 1 日～2020 年 12 月 21 日まで)では受講料が異なりますのでご注意ください。

9. 受講の手続き

(1) 申し込み方法

前項 8. の申し込み期間内に、Web 上の「乳がん体験者コーディネーター(BEC)養成講座」のページよりお申し込みください。

※SNS 等で利用するハンドルネームでのお申し込み、受講はできません。

(2) 受講申し込み受付と受講料支払い

「申込フォーム」に必要事項をご記入のうえ送信ください。申込フォームへ記入されたメールアドレス宛に、受講料支払い方法案内メールをお送りいたします。お支払いはクレジットカード決済と銀行振込、コンビニ決済よりお選びいただけます。なお、数日経過してもメールが届かない場合は、お手数ですがお問い合わせ下さい。

(3) ID、パスワードの発行

ご入金確認後、e ラーニング・システムを受講頂くための「受講 ID」と「パスワード」を、メールにてご連絡いたします。なおシステム上、入金確認に数日かかる場合がございますのでご了承下さい。

(4) 受講開始

後述する受講方法に基づき、受講を開始して下さい。

10. 受講の方法(前期・後期共通)

(1) 受講環境の準備

パソコンをインターネットに接続し、以下の URL にアクセスして下さい。

「乳がん体験者コーディネーター(BEC)養成講座」のページ < <http://www.cancernet.jp/training/bec> >

(2) 「メディアサイト」という動画配信システムを利用してご受講いただきます。

講義視聴画面への導入は、受講生にお伝えします。[6. 受講資格]をご覧ください、くれぐれもご自身で動画にアクセスできることをご確認ください。**ご入金後は、いかなる場合も返金は致しかねます。**

(3) 講義資料(PDF)のダウンロード

講義視聴画面の各講義の「リンク」をクリックすると講義資料が出てきますので、そちらからダウンロードしてください。

(4) 講義の視聴

講義視聴画面の講義名のタイトルをクリックし、視聴を開始して下さい。

※前期の視聴および資料ダウンロード、レポート提出期間は、**2020 年 9 月 3 日(木)～2021 年 1 月 21 日(木)**、後期は、2021 年 3 月 4 日(木)～5 月 14 日(金)です。いずれも動画のダウンロードはできません。

11. 前期の講座内容

オリエンテーションを含む**全 20 科目の受講(視聴)**と、オリエンテーションを除く**19 コマのレポート提出(Word ファイル指定)**が、**前期修了試験の受験資格**となり、修了試験に合格することが、前期講座修了要件となります。

※レポート提出期限は、**2021 年 1 月 21 日(木)**です。講義視聴履歴の管理、及び責任は受講者各自に委ねられます。



12. 前期修了試験

＜乳がん体験者コーディネーター前期修了試験概要＞

この修了試験は、「科学的根拠に基づく医療情報」、「信頼性の高い医療情報」にアクセスし、回答を得る能力を確認する試験です。**インターネット環境で、ご自宅での受験が可能です。**

■試験期間: テスト配信日時:**2021 年 2 月 5 日(金)正午**

解答提出期限:**2021 年 2 月 7 日(日)正午まで**

* 解答方法は、受講生専用サイトから試験問題(PDF)をと解答用紙(word ファイル)をダウンロードし、解答は word に書き込み送信します。

■合否判定: 本試験の合否基準は、「科学的根拠に基づく医療情報」、「信頼性の高い医療情報」にアクセスし、回答を得る能力のみであり、受験者間での相対評価、事前の合格者数の設定は行なっていません。また、合否に関する個別の問い合わせ、合否基準に関する問い合わせには対応致しません。

■修了証: 試験合格者には、乳がん体験者コーディネーター前期プログラム修了証を発行致します。なお、試験不合格で、再受験を希望する場合は、次クール(17 期)の受験(受験料 ¥ 5,000 + 税)が可能です。
合否発表は、2021 年 2 月 15 日(月)を予定しています。

13. 後期講座の内容

乳がん体験者コーディネーター養成講座(前期)修了者は、前期で習得した系統的知識、乳がん医療情報の扱いを実践に活かすための演習を主眼とした養成講座(後期)の受講資格を得ます。後期プログラム修了者を NPO 法人キャンサーネットジャパン認定乳がん体験者コーディネーターとし、認定証を発行します。

後期講座は、**2021 年 3 月～5 月**の期間内で開催を予定しており、詳細は **2021 年 2 月頃**に受講生にお知らせいたします。

* 前期修了試験に合格し、後期受講をもちこす場合は、次年度までといたします。

(1) web 講義

- ① がん医療を取り巻く各職種と BEC に期待される役割、Must do 5、Must not do 5
- ② がんとコミュニケーション
- ③ ピアサポートの活動とは？
- ④ プレゼンテーションの基礎知識

(2) ケーススタディ・ロールプレイ

e-learning ではなく、5～8 名程度の少人数でのグループワークです。**平日・土日祝日を含む数日の候補日のなかからスケジュールを調整して日程を決めます。**同日の午前にケーススタディ、午後にロールプレイを CNJ 東京事務局※1で開催します。東京以外にも、受講生が 5 名前後集まること可能な地域がある場合、地方での開催も考慮いたします。

過去には、大阪、仙台、鹿児島、青森での開催実績があります。

※1) 15 期では、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、一部の受講生はケーススタディ、ロールプレイをオンライン(ZOOM ミーティングを使用)で開催しました。原則対面での開催を予定していますが、**今後の状況により、オンラインでのケーススタディ、ロールプレイに変更になる可能性もあります。**

オンラインでのケーススタディ、ロールプレイの場合、ご自宅等プライバシーが保たれる場所で、また WIFI 環境ならびに、PC にカメラ、マイク機能がある、またはカメラ、マイクを PC に取り付けて頂くことが必須になります。

(タブレット使用可、スマホのみの受講は不可) 予めご了承ください。

(3) 全体発表・修了式(東京都内貸会議室 ※2)

(前期・後期)受講を振り返り、全体を通じて学んだこと、反省点、要望点などに加え、今後の活動の展望について、各自 5 分程度の発表を行い、全員で学びを共有します。時期は **2021 年 5 月下旬**を予定しています。

※2) 15 期では、新型コロナウイルス感染のリスクを回避するため、全体発表をオンライン(ZOOM ミーティングを使用)で開催しました。**今後の状況により、こちらもオンラインに変更になる可能性があります。ご自宅等プライバシーが保たれる場所で、また WIFI 環境ならびに、PC にカメラ、マイク機能が必要になります。(タブレット使用可、スマホのみの受講は不可) 予めご了承ください。全体発表に欠席の場合、レポートの代用も可能です。**

14. 乳がん体験者コーディネーター認定までの流れ

■養成講座(前期)

- (1) 全 20 講義の視聴と、オリエンテーション除く 19 講義のレポート提出
- (2) 前期修了試験受験
合格→養成講座前期修了(修了証を発行)
※試験不合格の場合は、次クール(17 期)で再受験可能(別途受験料 5,000 円+税)

合格者



■養成講座(後期)

- (1) 全 4 講義の視聴とレポート提出
- (2) ケーススタディ・ロールプレイ (1 日、対面)
- (3) 全体発表・修了式
→認定乳がん体験者コーディネーターとして登録

※後期講座に進んでいただいた方でも、キャンサーネットジャパンが BEC としてその素養に相応しくないと判断した方は、認定しない場合があります。その場合、後期講座の受講料は返金いたします。

15. 認定後の各種手続きと認定継続要件等

認定者は、認定 NPO 法人がんネットジャパン事務局内「BEC/CIN 認定継続フォローアップ委員会」に登録されます。初回登録料(15,000 円+税)は、後期受講料に含まれます。以後、継続を希望する場合は、**3 年毎の更新時に更新料として、10,000 円+税**を申し受けます。

当委員会は、認定者の認定継続と質の管理、フォローアップのための研修・情報発信等を行います。認定は 3 年間の更新制となり、下記、に定める認定継続要件である 15 ポイント以上の活動を必須とします。認定者の継続学習や認定継続に関する窓口は、全てこの委員会が行います。

更新 4 回目(認定後 12 年目)以降は、3 年毎の更新時に 3,000 円+税の更新料を申し受けます。

<認定継続に必要なポイントの内容について>

認定を更新するための条件である更新ポイントは 15 ポイントです。

1. 継続学習の機会への参加
 - CNJ が主催・共催・後援するイベント 2P
 - CNJ が認めるがん関連学会 3P
 - 科学的根拠に基づき、情報発信しているセミナー・シンポジウムへの参加 2P
(セミナーの内容によっては、ポイント対象外の場合もありますので、ご不明な場合は事前にお問い合わせ下さい。)
2. 相談活動に従事 1P
3. 講演活動 3P
4. 啓発・支援活動の企画・実施 2P
5. BEC 養成講座前期プログラム再受講 15P
6. BEC 養成講座後期プログラム再受講 7P(但し後期を1度再受講をされた方は、その後 3 年間再受講できません)
7. アドバンス講習会への参加 3P
8. CCN(CNJ がんナビゲーター) <https://www.cancernet.jp/training/ccn> を受験し合格した場合 5P
9. がんチャンネル(<http://www.cancerchannel.jp/>) の視聴 1 本につき 1P

16. 認定後の活動について

本養成講座を受講され、修了・認定された方々は、ご自身の仕事の中で、またはボランティア活動や患者会活動において、本プログラムで習得されたがん医療情報の基本的知識、最新の情報へのアクセスのスキル等を活用頂いております。更に、CNJ が企画・運営する各種セミナー・プログラム「CNJ がん情報ステーション」、「CNJ がん医療セミナー」、「外部研修プログラム」など病院内外でのピアサポーターとして活躍されているほか、民間企業、自治体等によるがん医療啓発活動での講演などでも活躍されています。ただし、本講座では認定後の就職の保証はいたしません。

BEC 認定者の活動状況はこちら→<https://www.cancernet.jp/training/beccin-activity>